

医薬品産業ビジョン

「国際競争力強化のためのアクションプラン」の進捗状況等

平成18年4月28日
厚生労働省

医薬品産業ビジョン

「国際競争力強化のためのアクションプラン」の進捗状況等

(頁)

医薬品産業ビジョン「国際競争力強化のためのアクションプラン」 の進捗状況等について	1
--	---

医薬品産業ビジョン「国際競争力強化のためのアクションプラン」 の進捗状況等

(1) 研究	2
(2) 開発	5
(3) 生産	11
(4) 販売等	12
(参考) 政府全体・関係省庁等における取組みについて	16

医薬品産業ビジョン「国際競争力強化のための アクションプラン」の進捗状況等について

「生命の世紀」とも言われる21世紀において、医薬品産業は、国民の保健医療水準の向上に資するだけでなく、我が国を担うリーディング産業として、国民経済の発展にも大きく貢献することが期待されている。しかしながら、研究開発をめぐる製薬企業間のグローバルな競争の激化、不十分な創薬環境、医療保険財政の悪化等の影響もあり、このままでは我が国の医薬品産業の国際競争力が弱体化していく可能性がある。

このため、平成14年8月30日に「医薬品産業ビジョン」を策定・公表し、「ゲノム創薬」の成果や「テーラーメイド医療」の世界が本格的に実現する10年後においても、医薬品産業が我が国のリーディング産業としての役割を担えるよう、一刻も早く、国際競争力の強化と魅力ある創薬環境を実現できるような産業政策を打ち出していくことが必要であるとの認識の下、今後5年間を「イノベーション促進のための集中期間」と位置づけ、国の支援策をアクションプランとして提示したところである。

厚生労働省では、医薬品や医療機器に関する産業政策に全省的に取り組むため、平成14年12月、厚生労働事務次官を本部長とする「医薬品・医療機器産業政策推進本部」を設置し、毎年、「医薬品産業ビジョン」のアクションプランの進捗状況等を点検することとしており、今般、平成17年度末までの進捗状況等を本資料として取りまとめたところである。

今後、この進捗状況等を踏まえ、関係団体や有識者等からのヒアリングを実施するなど、国民各層からの幅広いご意見をいただいて必要な検討を行い、医薬品産業政策の一層の推進を図っていくこととしたい。